

修正箇所を太字、下線で示しています。

エ 伝搬計算

$$L_r = L_{wo} - 20\log r + 10\log(Q/4\pi) - \Delta L_d$$

L_r : 受音点での音圧レベル(dB)

r : 音源から受音点までの距離(m)

オ 伝搬計算

$$SPL = 10\log_{10}\left(\sum_{i=1}^n 10^{SPL_i/10}\right)$$

SPL : 予測地点における騒音レベル(dB)

SPL_i : 各音源からの騒音レベル(dB)

n : 音源の数

3) 予測条件の設定

ア 施設の配置、形状、材質

施設の配置は、「新ごみ処理施設整備基本計画」(平成 28 年 3 月 穂高広域施設組合)に示されている工場棟配置計画を基に、焼却施設及び不燃物処理施設を設定した。

焼却施設の形状は 80m×50m×33m (高さ) の直方体とし、1 階は鉄筋コンクリート、2 階から天井までは ALC (軽量気泡コンクリート) とし、屋根はガルバリウム鋼板とした。誘引送風機については、防音構造の専用室内へ設置するものとした。

不燃物処理施設は 50m×13m×10.5m (高さ) の直方体とし、壁は ALC、屋根はガルバリウム鋼板とし、内壁にグラスウール吸音ボードを施工するものとした。

使用する建材の吸音率を表 4.2.29 に、透過損失を表 4.2.30 に示す。

表 4.2.29 吸音率

部分	材質	周波数別吸音率						
		125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz
外壁	コンクリート	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	—
	ALC100mm	0.06	0.05	0.07	0.08	0.09	0.12	—
内壁	グラスウール 吸音ボード	3	10	25	60	70	80	80

出典 1 : 「騒音制御工学ハンドブック」(平成 13 年、技報堂出版) P28

出典 2 : 「騒音制御工学ハンドブック」(昭和 55 年、技報堂出版) P609

表 4.2.30 透過損失

部分	材質	周波数別透過損失 (dB)						
		125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz
外壁	コンクリート	34	43	50	56	61	67	—
	ALC100mm	31	32	29	37	46	51	—
屋根	ガルバリウム 鋼板	7.6	11.8	16.6	21.6	26.9	32.2	—

出典 1 : 「騒音制御工学ハンドブック」(平成 13 年、技報堂出版)

出典 2 : メーカー資料